

只見町立只見中学校 – 地域と取り組む海を守る活動と持続可能な社会の実現のために私たちができること

只見ユネスコエコパークに位置する只見町立只見中学校では、生徒会と SDGs 委員会が中心となり、地域社会との連携を重視しながら、環境保全や持続可能な社会づくりに向けた活動を行っています。海とは離れた場所に住む自分たちだからこそできる視点で、広い視野を持って環境問題に取り組んでいます。

海を守る活動

只見中学校では、海洋教育の一環として毎年、新潟県上越市の海浜でゴミ拾いを実施。生徒全員が海洋プラスチック問題の深刻さを体感しました。また、地域上流での生活が海に与える影響を学び、環境保全への意識を高めています。

PET FREE MONDAY の推進

SDGs 委員会を中心に、週 1 回ペットボトルを使用しない「PET FREE MONDAY」を導入しました。活動を広めるために、生徒会と協力して「ペットボトルノーマンデー」という親しみやすい合言葉を考案。また、家族とともに取り組みを共有するためのマグネットを配布するなど、活動の定着を図っています。さらに、全校放送を通じて継続的な啓発活動を行っています。

新聞バッグ作り

新聞を再利用したバッグ作りは、地域住民との連携で進められています。月間約 400 枚を制作し、地域内外で注目を集めています。また、大学生や地域住民を対象としたワークショップを開催し、只見中学校発の環境活動を広めています。地域社会との結びつきを深めるこの取り組みは、生徒たちにとって実践的な学びの場となっています。

古着回収プロジェクトへの参加

ユニクロの“届けよう、服のチカラ”プロジェクトに参加し、生徒会と SDGs 委員会が協力して、着なくなった服を回収し、貧困地域に寄付する活動を実施しました。学校内外で協力を募り、合計 1200 着の服を回収する成果を上げました。この活動は、物資の有効活用だけでなく、国際的な視点での連帯感を生徒たちに教える重要な機会となりました。

未来への展望

只見中学校では、生徒会と SDGs 委員会を中心に、地域とも協働しながら様々な取り組みを進めています。生徒達は SDGs を意識することで、地域課題の解決に貢献するだけでなく、持続可能な未来を築くことを目指しています。

